

令和6年度 男女共同参画審議会議事録要旨

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 令和6年12月17日(火) 18:30~20:00 |
| 場 所 | 佐世保市男女共同参画推進センタースピカ 研修室 1 |
| 出席者 | <p>〔審議委員〕 津久井委員(会長)、伊藤委員(副会長)、大庭委員、栗林委員、内橋委員、吉原委員、牛島委員、永田(洋)委員、永田(佳)委員、中倉委員、千丸委員、眞弓委員、木村委員、前川委員、渋谷委員、野瀬委員</p> <p>※委員数20名のうち半数以上(16名)の出席があるため会議開催可。(条例24条)</p> <p>〔事務局〕 中西部長、菊永課長、松尾係長、川崎主査</p> <p>〔傍聴者〕 なし</p> |
| 議 題 | 1. 令和5年度佐世保市男女共同参画計画推進状況について 2. 男女共同参画推進センターの事業報告について 3. その他 意見交換「女性のヘルスケアについて」 |
| 資 料 | 1. 令和5年度佐世保市男女共同参画計画推進状況報告書 2. 佐世保市男女共同参画推進センター「スピカ」事業報告書 3. 事前質問及び回答 4. その他 意見交換資料 |
| 開 会 | 1. 開会 2. 事務局挨拶(市民生活部長) 3. 委員・事務局紹介 |
| 議 事 | 4. 議事 ★会長 ●委員 ○事務局 ★会 長 議事を進行する。本日は議題が「令和5年度佐世保市男女共同参画計画の推進状況について」「男女共同参画推進センターの事業報告について」「その他」となっている。 議題ごとに事務局から説明を聞き、その後、委員には意見・質問を伺いたいと思う。それでは議題1の事務局説明を求める。 |
| 議題1 | 議題(1) 令和5年度 男女共同参画計画推進状況について ○事務局 資料(推進状況報告書及び事前質問回答表)により説明 ★会 長 委員から質問・意見があれば挙手の上お願いする。 ●委 員 【質問・回答表】(取り組み項目)のNo.17について。 |

議題 1

ハラスメント防止のための啓発という部分で、回答は管理職を対象としているということ。良くなったと思うのは毎年実施しているということ、こういう機会が増えたことは良いと思ったが、会計年度任用職員へ向けたハラスメント研修を行ってほしい。なぜかという、自分がハラスメントを受けているかどうか分からないや、自分が嫌な思いをしたが話せなかったということがある。あまり立場が強くない会計年度任用職員に研修の機会を設けていただきたい。

○事務局 今回の委員のお話を聞いて、DVも同じであると思う。自分がDVを受けていたことが今までわからなかったといったことが、女性相談でもあると聞いた。まさしくハラスメントも同じで、この管理職に向けての啓発というのは自分がしないよという視点での研修になっていると思う。受け身の方達の立場を考えた、視点を変えた多様性のある研修をしてもらいたいという意見が出たことを職員課に伝えたい。

●委員 【質問・回答表】(取り組み項目)のNo.29について。

今年度施行されている困難な問題を抱える女性への支援に関する法律のことで、佐世保市は第5次計画に合わせて策定予定との回答だが、第5次だと2028年からの計画になると思う。シングルマザーの支援をしている団体から、問題は切実なものもあると聞いているので、迅速に対応いただきたい。

また、現在女性相談員が2名だが、以前相談件数を聞いた際にかなり多かった。スピカ出張相談が12月は21日の1回だけ。出張相談は、月2回と記載があるので、回数を増やしてほしい。暴力を受けたときに逃げ込める場があまりないという話も聞いたので、この計画策定時に盛り込んでいただきたい。

○事務局 まずスピカの出張相談について、今月が28日の閉庁日と重なってしまった。通常は第2・第4の月2回実施している。(※注 実際は12月7日と21日に実施していることを審議会終了後に確認)

また計画については、国や県の基本計画を参考にしながら、予算との兼ね合いもあるが、ご意見いただいたことを念頭に置いて今後進めていきたいと思う。

○事務局 今回の計画の件だが、佐世保市第4次計画29ページ基本目標のⅢ、「安全・安心な暮らしの実現」の中で、女性等に対するあらゆる暴力の根絶や、困難を抱えている人が安心して暮らせる環境の整備、特にこの困難を抱えているところについては具体的施策として、貧困・高齢者障がい者等の困難やひとり親家庭の生活安定と自立の促進ということで、大きなところではもうすでに計画の中に入っている。今回、国が困難な問題を抱える女性の支援にということで、別途法律を作ったが、この計画を別出しにしていくのかとなると、県が一体化していくという考えであるので、佐世保市も今のところ県の状況を見ながらと考えてい

る。しかし、これからより検討していかなければならないことではあるので申し添えておく。

●委員 【質問・回答表】(取り組み項目)のNo.35について。

佐世保の場合は幸い避難所を必要とするような大きな災害は最近ないが、前もって何かあったときに対応できるようなものが必要だと思う。

女性が少ない中で話して、女性の衛生面についての意見がどのくらい反映されるのかが非常に気になる。

それともう1つ、困難な問題を抱える女性の支援について。

シングルマザーは収入がある程度の段階になったら、色々な支援がなくなると聞いた。シングルマザーが経済的に厳しい状態ということを行政側で把握して、支援策を考えてほしい。

●委員 日本防災士会で理事をしているが、防災の件で意見があったので一言。

避難所は基本的に、避難所で生活をする方が自主的に運営するものである。このくらいのトイレが必要といった提案や考えを市に挙げることは必要だと思うが、市に担当者がいるかというといない。備蓄を置くことは市の予算で行うが、実際に運営するのは住民であり、内閣府も住民主体でやっていくように方針が変わっており、長崎県や佐世保市でも地域のリーダーをどうやって育てていくかということが課題になっている。行政に用意してくれという時代ではなくなっている中で、住民にどのように啓発するか、ジェンダー目線で考えていくことが今女性視点の防災と言われている。せっかくスタートした審議会なので、ぜひそういう話ができたらよいと思う。

○事務局 佐世保市防災管理局でも、地域の方々に、自主的にいろんな活動をしていただくよう、それぞれの地域で防災のリーダーや地域防災計画を策定してもらおうといった活動をしている。また、懇親会や意見交換会に参加した時に、町内会や地区自治協議会の方も避難所の運営となったら自分達も加勢するよという嬉しい声をいただく。ただ実際やっていたらこうとしたときに、そこで事故が起きた時の補償、活動保険のところまで止まっていると聞いた。現在、地域活動の時は市民協働の保険があるが、災害となったら保険は補償対象外。災害というただでさえ危険な状態のときに、どのようなけがをされるかっていうのがわからないのでやはり保険会社としてもリスクがあるからである。

そういったところも、今後どうしていくかということも佐世保市も研究して、市民の方に理解を深めていただく活動をしていかなければいけない。そういったときに、防災士の活動をしていらっしゃる委員の意見は心強くてありがたい。また改めてお伝えをさせていただきたい。

| | |
|-------------|---|
| <p>議題 1</p> | <p>●委員 災害ボランティア保険という 1 年更新の 500 円未満の保険があり、自治会の方も加入できるので、そこは心配しなくてもよいのかなと思う。費用を市として負担するかどうかは、やはり理解していただいて自身で加入していただくよう推進していくことが大事だと思う。</p> <p>●委員 佐世保市は災害被害が少ないであろうと思われるが、避難や応援にきた方々が宿泊となったときに、宿泊施設が元々少ない。ホテル誘致を民間だけで行うのはなかなか厳しいので、コロナの療養施設や災害時の避難所等としても利用できるの、宿泊施設の充実を図るよう市から要望を出していただけたらもっと良くなるのではないかと思う。まずは宿泊施設へ、それから体育館や公民館へといった流れになるかと思うが、佐世保はそういう災害時の受け入れ施設が足りていないのではないか。</p> <p>○事務局 市民生活部の管轄外なのですぐに回答できる内容ではないが、担当部局から観光客やビジネスで来た方が泊まれないや、ホテルが取りにくいといった声は確かに聞いている。そのうちホテルが建つという話もあるように聞いているので、誘致が目先だけのことでなくて、防災にも役立つという視点を、観光担当課に伝えたい。</p> <p>★会長 次の議題に移る。</p> |
| <p>議題 2</p> | <p>議題（2）佐世保市男女共同参画推進センターの事業報告書について</p> <p>○事務局 資料(男女共同参画推進センター「スピカ」事業報告書)により説明</p> |
| <p>議題 3</p> | <p>議題（3）その他 意見交換「女性のヘルスケアについて」</p> <p>○事務局 資料に基づき説明 動画視聴</p> <p>★会長 意見交換を行う。質問・意見があれば挙手の上お願いする。</p> <p>●委員 スピカで職員として仕事をしていた 2～3 年前に、生理の貧困という問題に取り組んでいた。そのころ内閣府でも、金銭的な貧困ではなく知識の貧困、生理に関する知識を皆さんが持つことによって、生理は恥ずかしくないものなのだよということを普及していこうという活動が盛り上がった時期があった。 スピカでも、生理についてのパンフレットや生理用品をイベントの中で配布し、アンケートを行った。そのアンケートの中で、女性がこんなに大変だとはわからなかった、今回知ったので優しくしたいと思う、温かいものを飲ませたり腰をさ</p> |

| | |
|------------|---|
| <p>議題3</p> | <p>すってあげたいといった感想があった。その時は予算がなかったので、登録団体さんに募金をいただいて生理用品を購入したが、翌年からは予算がつき現在もスピカの女子トイレには、生理用品を置いている。</p> <p>また、昔は生理の授業は男女別にあり、男子が何を話しているのだろうとそこから興味を持ってしまうことが逆によくない方向に進んでしまう、生理用品が恥ずかしいものというような教育がされていたが、最近は教育現場でもそういうのが、ジェンダーレスな教育に変わってきている。</p> <p>佐世保市としては 2 年位前から取り組んでいるので、引き続きその生理の貧困という知識の貧困に関しては、活動していただきたい。</p> <p>○事務局 市の中で、副市長をトップに部局長で構成する男女共同参画推進会議というのがあり、本日と同じ資料を配布し、今の動画を視聴してもらった。その会の中で女性は私一人であるので、女性はかわいそうでしょうということを訴えていると思われるのではないかと不安があった。しかし、「このようにきついということを知らなかった」といった声かけや、早速男性職員に伝えたという方もいた。また、この動画はどこにアップしてあるのかを具体的に聞いてこられた方もいたり、意外と男性の部局長も好意的だった。こういった男性の反応があったことは、一番のよかったことだと思ったところである。</p> <p>★会 長 時間となったので、意見交換を終了してよいか。 本日のすべての議題について審議を終わる。</p> |
| <p>閉会</p> | <p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p> |